

消防学校だより

令和4年3月号

発行年月日 令和4年3月31日
発行 宮崎県消防学校

第61期初級幹部科入校

3月7日(月)から3月18日(金)、第61期初級幹部科研修を実施しました。本研修には県内7の消防局・消防本部から21名の学生が入校しました。

研修は、現場指揮をはじめ、消防財政、予防行政など幅広い講義が行われましたが、初級幹部科学生らしく真摯に教育訓練に取り組みました。



総代 吉野 智洋 (西都市)

初級幹部科 (学校長講話)



3月7日(月)、蕪 学校長による講話を行いました。

リーダーが最低限備えなければならないスキル「リーダーシップ」について、ドラッカーの定義からみるリーダーシップの基礎知識の話からはじまり、特性理論、行動理論、条件適合(コンセプト)理論等、リーダーシップ理論を話されました。

ビジョン型、コーチング型、仲良し型など様々なリーダーの種類があるが、リーダーシップを身に付けるために必要なのは、信念、伝える力、アンテナ、決断、俯瞰(客観視)であることを伝えられました。

初級幹部科 (安全管理と実技)

異なる所属で勤務する学生と一緒に訓練するにあたり、安全管理や実技訓練に対して共通認識を持つことを目的に「応急はしご救助操法」の訓練を実施しました。消防救助操法は共通認識を持ち消防職員が実施出来る訓練ですが、所属で細かな部分の取り決めに相違があるため統一し、全員が同じ認識で訓練に取り組めるようにするとともに、安全管理者の行動について確認しました。



初級幹部科（施設管理）

3月8日(火)、宮崎市消防局総務課 主幹 四本 和孝司令を講師に招き、施設管理について講義していただきました。



現在、庁舎建設という一大プロジェクトに携わっている観点から、業務を進める中で解決しなければならない問題や、それに対する解決策など、職業人生の中で誰もが携われる業務でいだけに貴重な講義をしていただきました。

初級幹部科（ドローン研修）

3月9日(水)、ドローン研修を行いました。

ドローンは、水災・土砂災害等大規模災害時の被害状況の確認や、建物火災の状況確認、山間部等の要救助者の確認などに活用され、今後ますますの利用の拡大が予想されます。

ドローンに関する関係法令を始め、機体運用について基礎的な研修を実施しました。



初級幹部科（予防行政）

3月9日(水)、宮崎市消防局予防課職員の方から、予防行政の法体系、消防設備、危険物について講義していただきました。

法体系

消防法の法体系の説明をはじめ、資料提出命令や立入検査など、実務の際必要となる根拠法について、過去事例を交え講義していただきました。



関屋 好徳 消防司令補

消防設備

消防設備等の区分及び種類、設置及び維持の技術上の基準など、実務を行う上で必要となる専門的知識を講義していただきました。



湯地 幸郁 消防士長

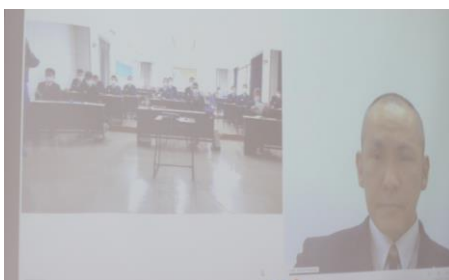
危険物

消防法上の危険物について、危険物の分類・性質、第4類に分類される危険物指定数量のポイントなど、危険物を規制する法令など深く講義していただきました。



増野 勝士 消防士長

初級幹部科（消防財政）



3月10日(木)、宮崎県東児湯消防組合 総務課長 瀬川 幸一郎司令に消防財政について講義していただきました。

財政の三つの大きな働きをはじめ、消防財政の特色や、消防費の決算状況、消防防災施設等に係る国庫支出金の説明などを含め、広く講義していただきました。

講義は、東児湯消防組合消防本部と本校間でのリモートにて実施しました。

初級幹部科（山岳訓練）

3月11日(金)、山岳遭難救助事案が発生した際に、地図及び方位磁石を使用し目的地に到達し、状況に応じた救助活動の指揮、並びに山岳における活動時の防災救急ヘリコプターとの連携の流れを理解し、安全確実に迅速な行動が行えることを目的に訓練を実施しました。



初級幹部科 (現場指揮 図上シミュレーション)

3月14日(月)、指揮の基本パターンを学ぶため、図上シミュレーションを実施しました。

指揮者として、災害現場では 実態把握、状況判断、決断、命令と実行、報告と評価そしてまた実態把握と、指揮の基本パターンを繰り返さなければなりません。その基本パターンを訓練するため図上の指揮訓練を行いました。



初級幹部科(人権同和)

3月14日(月)、県人権同和对策課 人権啓発専門員 田原 新一氏を講師に招き、人権について講義を受けました。

人権とは、「私たちが幸せに生きるための権利」、相手の立場に立って「思いやり」、自分を大切に「自己肯定感」の気持ちを持つことや、ハラスメントやLGBTなど、常日頃からのコミュニケーションと職場や仕事仲間同士でのケジメと思いやりを持つことを講義していただきました。



初級幹部科 (メンタルヘルスと惨事ストレス)

3月15日(火)、消防庁緊急時メンタルサポートチームの公認心理師 首藤 啓介先生に、惨事ストレス対応の講義を行っていただきました。

講義では、惨事ストレスについて復習し、誰もがメンタル系疾患に罹患する可能性がある事、身体が弱っているときに筋力トレーニングをしないのと同じように、メンタルが弱っているときに心のトレーニングは行わないことなどを含めた講義をしていただきました。



初級幹部科 (燃焼と消火、実火災体験)

3月15日(火)、燃焼実験と実火災体験を実施しました。

研修の目的は、燃焼現象を理解した上で、炎の発する実際の熱と煙を体感し、火災初期から最盛期に至る燃焼現象の過程を見ることで、火災現場で指揮を執る際の危険要因等を再認識しました。



初級幹部科 (現場指揮)

3月16日(水)、現場指揮訓練(先着小隊長)を実施しました。

指揮には、その権限に相応する責任が伴う事の自覚と、指揮の基本パターンを定着させる事を目的に、出勤時の状況把握、各隊員への情報の共有、役割の明確な指示等、先着隊長としての実働訓練を実施しました。

訓練実施者だけでなく、安全管理やコントローラーを行うことで訓練全体を把握し、職場教育時の訓練実施にも活用してもらえればと思います。



初級幹部科 (学生企画訓練)

3月17日(木)、学生企画訓練を実施しました。訓練は初級幹部科研修の総括として、訓練計画、安全管理体制、調整、時間管理など全般にわたり学生で実施しました。

各所属で訓練実施の際、今回の訓練で気づいたことを生かして欲しいと思います



初級幹部科は全てのカリキュラムを終え3月18日(金)に無事修了しました。

令和4年度4月の主な行事予定

4月5日(火)～9月30日(金)

4月6日(水)

4月16日(土)・17日(日)

4月21日(木)・22日(金)

4月26日(火)・27日(水)・28日(木)

第67期初任科

第67期初任科入校式

消防団指揮幹部科現場指揮課程1次

消防団指揮幹部科現場指揮課程2次

消防操法指導員研修

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp